

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

- NHK テキスト「ボーヴォワール 老い」上野千鶴子
- 悪循環の恋の詩⇒ 好循環の詩への変換を考えよう

★ 参加者 ： 9名 (女性7名、 男性2名)

★ 参加者の感想

『老い』は、ボーヴォワールが 60 代で書き 1970 年に刊行された大著で、超高齢化社会となった現在の老いの問題を先取りした先駆的な本とされています。上野千鶴子さんも、50 代からは研究を女性学から介護にシフトされており、ご自身の研究結果や考察をたくさん入れて解説されていて興味深い内容でした。



高齢者が、「自分は役に立たないと絶望せず」「世間から厄介者扱いされることなく」老年期にも一個の人間としてあり続けるために、社会はどうあるべきかとボーヴォワールは本の中で問い続けています。そして上野やその答えが見つかりつつある、日本でも 2004 年に介護保険がスタートし、おひとりさまの高齢者が自宅で暮らす条件が整い始めている、と述べられています。

本の中では「老いと性」についても述べられていて、ボーヴォワールは、老人の性が無きものにされていることに対し強い異議を唱えています。近代で否定されてきた「生殖できない性（こども、老人、障害者）」ですが、近代以前には当たり前の性であり、さらに多様な性も肯定されていたとのこと。上野さんも、性を問うことは人間を問うことで、自由の問題にもつながっており、タブー視されがちなこの問題に真正面から向き合おうと述べられています。老いて枯れるという、世間が要求する道徳的なイメージは虚像であると、統計や文学作品の実例をあげ、生殖機能が消滅しても無性化されたわけではなく、老いても有性の個人であり続ける、とボーヴォワールは書いています。まさに読書会の研究テーマと一致しています。

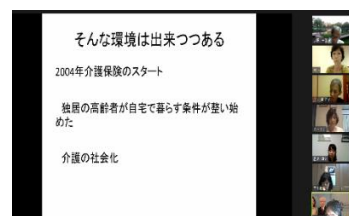
このような内容の放送(テキスト)に対して、感想を述べあい、「家族の介護の経験から、介護保険は嫁にとっても助かり、夫婦関係が悪くならず済んだ」「ボーヴォワールはさみしかったのでは？やはり人は親密な関係を持つ人が必要(ボーヴォワールはサルトルと婚姻によらないパートナー関係でしたが、二人の性的関係は 20 代で消滅していたらし



く、ボーヴォワールはその後恋人ができて幸福感を取り戻したという記述があるとのこと)」「上野さんは家族を拒否しおひとりさまの提唱者であるし、ポリアモリーという複数恋愛スタイルの人達もいる。いろいろな生き方がある中で、この読書会ではひとまず男女の関係に着目して勉強していこう」他にもいろいろ意見がありました。

その後「悪循環を好循環に変える方法」を詩で表現するプロジェクトで2編の詩の鑑賞を行いました。進藤さんによる「届けよう心の科学を」すべての人へのエールが込められたオキシトシン系の詩と、ぎんのはなうたさんによる「みこくのこい」ドパミン系の詩です。分厚い教科書を読むのと違い、詩は抵抗感なく感覚的に理解できました。今後も詩で表現する試みは継続されるとのこと。

読書会では毎回最新の刺激的な topic をご教示いただけるので、保守的かつ閉鎖的な地方・職場にいる私には社会の変化を感じられる大変貴重な勉強の場となっていて、いつも楽しみにしています。
(家族相談士 吉川真理)



<オンライン読書会はいかがでしょう？>



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶☺は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見！
夫婦生活につまづいている方はもちろん？円満な方やおひとりさまのお知恵も拝借しながら、おんなどおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第29回 8月28日(土) 14:00 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会 (ZOOM) に参加ご希望の方は➡のQRコードに (森友ラインあて)、お手持ちのスマホでカメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。

しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。

何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。